

「社会共生実習」とは、龍谷大学社会学部の全3学科が共同運営する地域連携型の実習です。



■社会
■共生
■実習

龍谷大学 社会共生実習ニュースレター

Infinity Vol.17

～大学と地域の協働力は無限大∞～

2024.6.20発行

発行元
龍谷大学
社会共生実習支援室

〒520-2194
滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5
龍谷大学瀬田キャンパス
6号館1階106号室
TEL:077-544-7230
FAX:077-543-7615
E-mail:co-ex@ad.ryukoku.ac.jp

お寺の可能性を引き出そう！
一社会におけるお寺の役割を考えるプロジェクトの活動風景

2024年度 プロジェクト活動開始

多文化共生のコミュニティ・デザイン

～定住外国人にとって住みやすい日本になるには？～

(担当教員：川中 大輔 准教授)



▲大澤 重人氏(渡来人歴史専門員)から解説を受ける受講生

京都の在日コリアンの方々との交わりを中心に、多文化共生まちづくりの課題を具体的に捉え、その課題達成のための活動を企画・実施します。

朝鮮半島や中国と日本社会との歴史的つながりを学習するため、4/21に「渡来人歴史館」(大津市)を訪問しました。大澤重人氏(渡来人歴史館専門員)からは「渡来人が日本にやってきた時、渡来人は自分たちの文化を押しつけず、在来人も渡来人を排除しなかった。渡来人から多くのことを学びつつ、重層的につきあって共存していた。この関係性から現在を見つめ直すことが大事ではないか」との投げかけが学生になされました。

これから京都の在日コリアンの方々との交わりを持って、共に活動していくこととなります。歴史的な視点から今起こっている事象/問題を捉える力を磨いたり、チームビルディングを進めたりしながら、現場に臨む準備を整えていきます

自治体をPRしてみる！

(担当教員：岸本 文利 教授)

自治体の広報現場に参画し、地域の魅力を映像ツールでPRすることをめざして活動しています。

取材での交渉を通じて、相手との信頼関係をいかに構築するかが重要であり、どうすれば多くの人に見てもらえるか、どうすれば共感できる映像コンテンツが制作できるかを実習をとおして学んでいきます。

その第一段階として、4/19に元テレビ局のカメラマン 南川二郎氏から動画撮影の基本を学びました。

その後、グループに分かれハンディビデオカメラを持ち、校内で校舎やウッドデッキ、キッチンカーなどを被写体にし角度や距離を考えた工夫して思い思いの動画を撮影しました。

1年目の受講生たちは、今後、編集作業について学んだり、ドローン飛行講座を受講したりと、動画制作に必要な技術を学ぶ予定です。



▲ハンディビデオカメラで動画撮影の様子

コミュニティの情報発信！レク龍プロジェクト (担当教員：久保 和之 教授)

滋賀県レクリエーション協会の広報事業について実践をととして学ぶ活動を進めています。

8月に大津市の真野浜水泳場で「浮き輪でGO!」という、イベントを企画しています。5/17に同水泳場でイベントを実施している川崎孝浩氏(合同会社CLAP×CLAP)に講演していただき、下見・視察を企画や本番に活かすためのポイントなどをお話していただきました。また、受講生は「浮き輪でGO!」の企画書を発表し、注意すべき点などをアドバイスしていただきました。



▲川崎 孝浩氏(合同会社CLAP×CLAP)から説明を受けている様子



▲「おもや」(滋賀県栗東市)で農作業をおこなう受講生たち

農福連携で地域をつなぐー 「地域で誰もがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」 (担当教員：坂本 清彦 准教授)

障がい者支援組織「おもや」で農作業や朝市への出店など多様な活動に参画し農業や福祉の課題を学びます。

4/19に「おもや」にて、ビニールハウス内でトマトの苗誘引と玉ねぎの苗床の除草作業を行いました。

「おもや」のスタッフや利用者の方と休憩時間には自己紹介など少しの時間が取れ、今後、そうした機会をより多く持つことでお互いの理解に繋がれたらと考えています。

お寺の可能性を引き出そう！ ー社会におけるお寺の役割を考えるー (担当教員：猪瀬 優理 教授 / 古莊 匡義 准教授)

寺院を中心とした地域社会とつながりを深めているお寺の活動に参画し、社会活動の拠点の場につながるよう受講生が主体となり課題達成のために企画・実践に取り組みます。

5/11に「花地蔵まつり」西方寺(滋賀県草津市)へのボランティアスタッフとして参加。駐車場に誘導する仕事や、駄菓子屋に併設された手作りスマートボールの受付スタッフとして活躍しました。



▲浄土宗 治田山 慈眼院 西方寺(滋賀県草津市)「花地蔵まつり」に参加



▲放課後等デイサービスセンター「ゆにこ神領」にて

障がいがある子どもたちの放課後支援 前期開講 (担当教員：土田 美世子 教授)

実習を通じて、障がいがある子どもたちとの関わり方を学び、子どもたちの未来につながる支援について考えていきます。

4/19に「放課後等デイサービスセンターゆにこ神領」で、現場オリエンテーションを実施しました。施設見学後、増田裕介氏(Y&C株式会社)から「障がいの特性別に子どもたちを分けると支援はしやすいけれど、障がいのある・なし、重度・軽度に関わらず、共にいることでお互いを理解できる」というお話は、共生実習の理念にもつながるものと感じました。

いくつになっても、出かけられる！ 後期開講 ～高齢者を元気にする介護ツアー企画～ (担当教員：高松 智画 准教授)

どのような配慮や介助があれば、介護が必要な高齢者の「出かける」ことを保障できるのかを考えるとともに、「出かける」ことを妨げている問題・課題を検討すること、さらにはコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身につけることを目的としています。

昨年度は3/17に介護ツアー「見て触れて感じよう！春の三井寺ツアー」を企画・実施しました。



▲介護ツアー「見て触れて感じよう！春の三井寺ツアー」にて

Webサイト・SNSでは最新の情報随時更新中♪



社会共生実習
Webサイト



社会共生実習
X



社会共生実習
Instagram



社会共生実習
Facebook